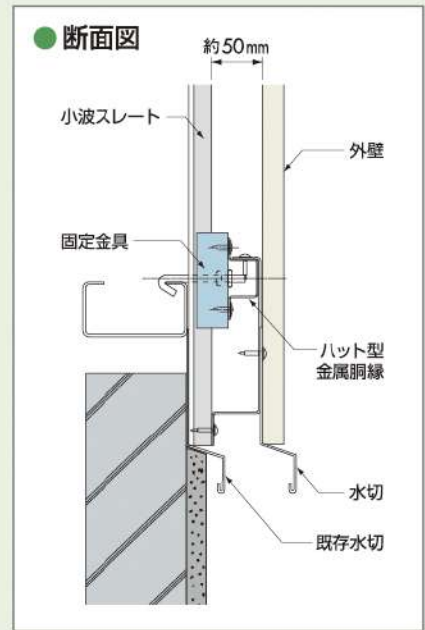
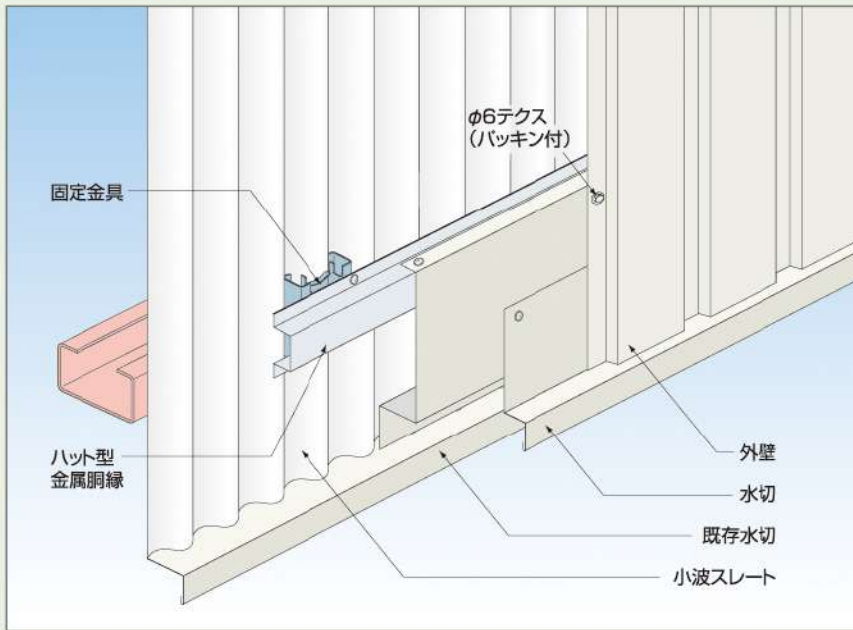


# ウォール・スライドイン工法（間接固定）



## ● 純正部材例

<p><b>固定金具 WS-01</b></p> <p>材質：亜鉛めっき鋼板 t=1.6mm</p>	<p><b>固定金具 (Hタイプ) WS-10</b></p> <p>材質：亜鉛めっき鋼板 t=1.6mm</p>	<p><b>高さ調整金具 (5mm) WS-11</b></p> <p>主に明かり採りで使用 材質：亜鉛めっき鋼板 t=0.8mm</p>
<p><b>ハット型金属胴縁 WS-04</b></p> <p>材質：亜鉛めっき鋼板 t=1.2mm L=3175mm</p>	<p><b>たたき込み治具 WS-50</b></p>	

## 既存小波スレート壁に穴をあけずに施工可能

既存フックボルトを利用し専用金具を固定し下地を構成してゆくため、既存小波スレートにダメージを与えることはありません。 ※既存建物の状態によっては穴をあける場合があります。

## 工事中でも営業や操業が可能

施工中もアスベストを含む粉塵等を室内へ飛散させない工法なので、室内養生の必要もなく、建物内での業務は継続して行えます。

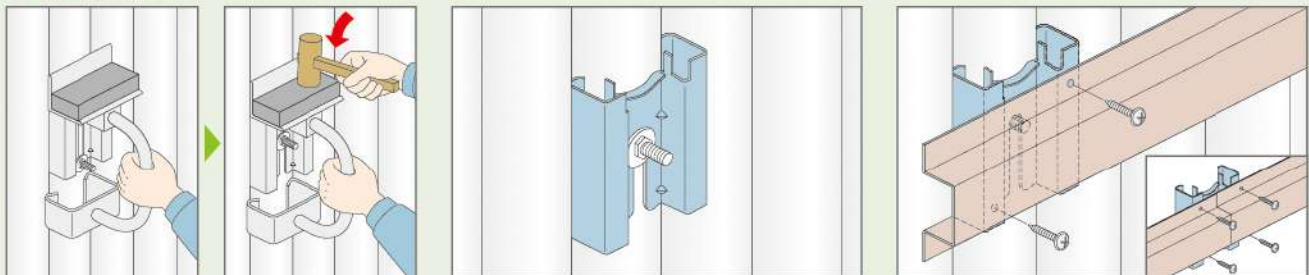
## 既存フックボルトの切断作業が不要

固定金具、下地部材を用いることで、既存フックボルトの余長分と干渉せず、面倒な切断作業は不要です。

## 下地構成時に不陸調整が可能

固定金具と固定金具 (Hタイプ) を使用することにより、スレートの重なりによる不陸を吸収します。明かり採り部ではスレートとの高さが異なるため、高さ調整金具を用いて不陸を最小限に留めます。

## ● 施工手順

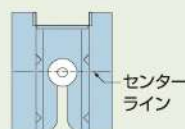


### 1. 固定金具の設置

たたき込み治具を固定金具にセットします。確実にセットされていることを確認後、たたき込み治具の上部をハンマー等で、フックボルトが固定金具の中央にくるまでたたき込んでください。

### 2. 固定金具の位置確認

固定金具の中央にフックボルトがある事を、確認してください。



### 3. ハット型金属胴縁の固定

ハット型金属胴縁を高さ調整金具に差し込みます。シンワッシャーテクスを用いて、ハット型金属胴縁を基本対角2本により、固定金具に止め付けます。